

事業概略書

事業名	大都市圏若年の未支援・未治療期間短縮に向けた地域連携システムの構築 :精神疾患の早期発見・早期支援を目指して
事業目的	<p>精神疾患の初回発症は、思春期や青年期、成人期早期に集中する。近年、諸外国においては精神疾患の早期発見・早期支援のための実践が行われ様々な成果をあげている。我が国でもすでに一部の地域で取り組まれているが、よりニーズの高い大都市圏における取り組みは、これまで本格的に行われていない。</p> <p>本事業においては、都市部で生活する若者が精神的不調や疾病を抱えた際に、より早い段階で適切な支援・治療を受けることができ、地域で安定した生活が送れるようにするための地域支援システムのモデルを構築した。それとともに都市部におけるニーズの詳細(相談者数・相談内容・支援内容)を把握・分析し、適切な相談・支援体制のあり方をまとめた。</p>
事業概要	<p>本事業では、東京都調布市及び三鷹市近郊の区市を対象地区とし、精神的不調を抱えている若者やその家族、教育関係者等がアクセスしやすい相談窓口(ユースメンタルサポートColor)を開設し、早期支援の訓練を受けた精神保健専門スタッフによるアセスメント・トリアージを行った。治療が必要と判断された若者に対しては、早期支援の専門外来(都立松沢病院)に紹介し、その後も連携をとりながら家族支援、生活支援、就学・就労支援を行った。また、他の医療機関からも初診から5年以内のケースの紹介を受け、手厚い心理社会的支援を実施した。</p> <p>加えて早期発見のための啓発活動や地域連携を行った。講演会や研修会、シンポジウムを主催した他、近隣市区の教育関係者や学会等でプレゼンテーションを実施した。また海外の文献を翻訳し、啓発の資料とした。</p>
事業実施結果 及び効果	<p>ユースメンタルサポートColorでは、期間内において36件の相談があった。その中で継続的に支援を継続することになったケースが14件あった。モデル事業として事業を立ち上げ、医療・行政・教育機関との連携について、また学習支援や家族支援、その他の具体的な支援の内容について、大都市圏での実践例を示すとともに、今後の課題についても明確化することができた。</p> <p>啓発活動・地域連携については、60か所近くの地域の関係機関に対して事業説明を実施した。加えて講演会や研修会、シンポジウム等を主催し、早期発見・早期支援事業について、地域の関係者や住民にも理解を深めてもらうことができた。</p> <p>以上の成果を周知することで、地域の事業所等が新たに精神疾患の早期発見・早期支援に取り組む際のモデルとなり、今後日本に事業が広がっていく際の一助となることを確信している。</p>
事業主体	<p>〒181-0014 東京都三鷹市野崎 2-6-6 社会福祉法人 巣立ち会 TEL : 0422-34-2761 E-MAIL : sudachi-kaze@sudachikai.eco.to</p>